

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和2年9月解析分)

1 今月のトピックス

■ インフルエンザワクチンの接種時期について

今冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えて、インフルエンザワクチンの接種希望者が増えることが予想されるため、重症化するおそれのある人等が優先して受けられるよう、国は、早めの接種を呼びかける対象や時期を発表しました。

インフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからないというものではありませんが、主要な効果として重症化予防があります。

今年は、過去5年間で最大量（全国で最大約6,300万人分）のインフルエンザワクチンが供給される予定ですが、より必要とされている方に確実に届くよう、ご協力をお願いします。

〈早めの接種を呼びかける対象と時期〉

時期	対象者
10月1日～	65歳以上の方(定期接種対象者)※ ※65歳以上の方のほか、60歳から65歳未満の慢性高度心・腎・呼吸機能不全者等
10月26日～	医療従事者、基礎疾患を有する方、妊婦、生後6カ月～小学校2年生



10月1日～25日は、対象者が接種できるよう、対象者以外の方は接種をお待ちください。
10月26日以降は、対象者以外の方も接種できます。

〈接種するワクチン〉

インフルエンザウイルスA型株2種類とB型株2種類を培養して製造された4価ワクチンです。そのシーズンに流行することが予測されると判断されたウイルスを用いて製造されます。

〈留意事項〉

- 感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いの徹底もお願いします。
- 接種に当たっては、あらかじめ電話等で医療機関と接種日時等を相談してください。
定期接種対象者は、接種費用の助成が受けられます。また、市町によっては、妊婦や子どもなど、定期接種対象者以外でも、接種費用の助成を受けられる場合もあるので、お住まいの市町の予防接種担当課にお問合せください。
- インフルエンザワクチンは重症化予防などの効果がある一方で、発病を防ぐわけではなく、接種時の体調などによって腫れや発熱などの副反応を生じる場合があります。この点をご理解いただき、医師と相談の上、個人の選択により接種を受けるようお願いします。接種後に体調に異変が生じた場合は医療機関に相談してください。
- 上記の日程は、あくまで目安であり、前後があっても接種を妨げるものではありません。

※ 予防接種の詳細については、お住まいの市町の予防接種担当課へお問合せ下さい。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和2年8月分(令和2年8月3日～令和2年9月6日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	
1	インフルエンザ	0	0.00	0.09		10	ヘルパンギーナ	78	0.22	0.91	↑
2	RSウイルス感染症	0	0.00	1.26		11	流行性耳下腺炎	12	0.03	0.45	↔
3	咽頭結膜熱	100	0.28	0.41	↘	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	152	0.43	1.16	↘	13	流行性角結膜炎	14	0.15	0.93	↘
5	感染性胃腸炎	737	2.07	3.66	↘	14	細菌性髄膜炎	2	0.02	0.01	
6	水痘	23	0.06	0.24	↘	15	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.04	
7	手足口病	40	0.11	1.89	↗	16	マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.21	
8	伝染性紅斑	0	0.00	0.18		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	140	0.39	0.41	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和2年8月分(8月1日～8月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	84	3.65	2.45	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	62	2.95	3.23	↗
20	性器ヘルペスウイルス感染症	26	1.13	0.83	↑	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.25	
21	尖圭コンジローマ	19	0.83	0.69	↘	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.01	
22	淋菌感染症	25	1.09	0.82	↘						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)
※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)
○急増疾患 ヘルパンギーナ (0.05→0.22)
 性器ヘルペスウイルス感染症(0.52→1.13)
○急減疾患 なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	35	結核(35)〔西部保健所(5),西部東保健所(6),東部保健所(3),広島市保健所(11),呉市保健所(1),福山市保健所(7),北部保健所(2)]
三類	10	腸管出血性大腸菌(10)〔西部保健所(3),東部保健所(3),広島市保健所(3),福山市保健所(1)]
四類	21	レジオネラ症(3)〔西部保健所(1),福山市保健所(1),北部保健所(1)] 重症熱性血小板減少症候群(1)〔呉市保健所(1)] 日本紅斑熱(17)〔西部東保健所(1),東部保健所(10),広島市保健所(2),呉市保健所(2),福山市保健所(1),北部保健所(1)]
五類	22	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)〔西部保健所(2),広島市保健所(2)] クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔北部保健所(1)] バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔西部保健所(1)] 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)] 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔呉市保健所(1),福山市保健所(1)] 後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所(1)] 侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔東部保健所(1),広島市保健所(1)] 播種性クリプトコックス症(1)〔福山市保健所(1)] 梅毒(7)〔東部保健所(1),広島市保健所(4),呉市保健所(2)]
指定	113	新型コロナウイルス感染症(195)〔西部保健所(7),西部東保健所(2),東部保健所(3),広島市保健所(73),呉市保健所(4),福山市保健所(20),北部保健所(4)]